

情報科学フロンティア研究院 特別講演会

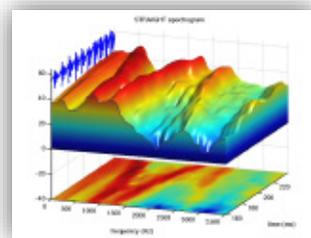
名古屋工業大学 情報科学フロンティア研究院
名古屋工業大学 グローバル共生情報研究センター
名古屋工業大学 国際音声技術研究所
JST CREST uDialogue プロジェクト

高精度な音声分析法は、人と区別がつかない音声合成システム構築のための基盤技術です。本講演会では、現在広く用いられている高品質音声分析法STRAIGHTの生みの親である河原英紀博士をお迎えし、Googleにおける1年間の滞在を通し新たに開発された新音声分析法についてお話いただきます。

高品質音声処理を目的とした 駆動音源の表現と分析について



河原英紀 博士
(和歌山大学名誉教授)



日時：2016年8月10日（水）11:00～12:00
場所：名古屋工業大学 4号館5階530号室
対象：一般，大学生，教員

概要：

実際の音声と区別できない品質の（分析）合成音声を実現することを狙って開発した新しい駆動音源情報推定法を紹介する。エリアシングを無視できる声帯音源モデルを用いた評価では、提案した方法による推定誤差は、時間変化を含む基本周波数軌跡の場合、従来法の1/10程度になる。また、この方法では非周期成分が同時に推定される。講演では、背景となる音声生成モデル、聴覚における処理と知覚特性、これまでに講演者が開発してきた多数の音源分析法の位置付けなどについても、併せて紹介する。関連資料（詳細はSSW9 <http://ssw9.net/> で発表）
<http://arxiv.org/abs/1605.07809>

講師略歴：

1977年、北海道大学工学研究科博士課程修了，工学博士。1992年まで，主にNTT基礎研究所，1992年，ATR人間情報通信研究所，1997年～2015年，和歌山大学教授，2015年～2016年，Google UK 客員研究員，2015年，和歌山大学名誉教授。1997年～2002年，CREST「聴覚脳プロジェクト」代表者。2015-2016 APSIPA Distinguished Lecturer. 何度かの中断を挟み，音声を中心とする聴覚メディア処理の研究に従事。1970年のNEC 2203Gの機械語から現在のMATLABまで，アルゴリズム／ソフトウェアを開発。1986年，Spark（音声工房），1997年，STRAIGHT，2015年，SparkNGなど。関連資料：電子情報通信学会情報システムソサイエティ誌，インタビュー記事

http://www.ieice.org/iss/jpn/Publications/society_mag/pdf/Vol19No4.pdf

問い合わせ先：名古屋工業大学
徳田研究室
052-735-5479